

2019年6月19日

京王プラザホテル ニュースリリース

 京王プラザホテル フィーチャー100
 ～おもてなしの裏側にある、ちょっといい話～

京王プラザホテル（東京：西新宿、社長：山本護）は、2021年に開業50周年を迎えます。そこで、世界各国からお客様をお迎えし、心に寄り添うサービスを提供するホテルとして私たちのおもてなしに秘められたエピソードを100回シリーズでお届けしてまいります。

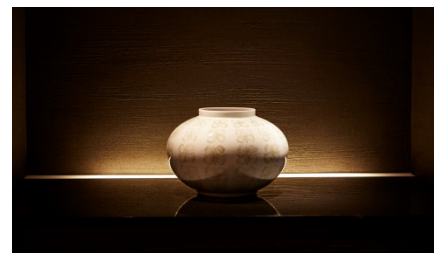
■VOL. 47 「海外のゲストにも人気を呼ぶカラオケ47」

1994年、都内ホテル初のカラオケルームとして開業した本館47階の〈カラオケフォーティーセブン〉。まだ街場にしかカラオケ店がなかった時代、歌とともにホテル最上階からの眺望とホテルバーテンダーが作る本格的なカクテルが楽しめる店は、大きな話題となりました。2008年には収容人数を拡大するとともに最新設備の音響や大型モニターを備える改修を行い、以来多くのお客様にご好評をいただいています。当初よりホテルならではの落ち着いた雰囲気と上質なサービスがエグゼクティブの方々に評判となり、ご接待の場としても秘かな人気の場所となっています。最近では海外からのご宿泊のお客様を中心に、歌ってそのままお部屋に戻れる利便性とナイトライフ体験が魅力となり、「Karaoke」が世界共通の言葉になった今、さらなる人気を呼んでいます。美しい眺望をバックに、「カラオケ」から「Karaoke」へと広がった心ゆくまで歌う楽しさ。空にいちばん近いハイグレードなステージが、皆様をお待ちしています。


■VOL. 48 「有田焼イベントが育んだ、人間国宝 井上萬二氏とのご縁」

開業時より、ホテル内を彩るアートにもこだわりと情熱を注いできた京王プラザホテル。

本館2階のレストランコリドールを歩いていると、懐石〈蒼樹庵〉の前に美しい白磁の壺が見えてきます。この壺は、有田焼の原点である「白磁」の第一人者として知られ、今も「究極の白」の造形美を追求され続けている人間国宝 井上萬二氏の作品。井上氏とホテルとのご縁は深く、1981年から続く人気の



やきものイベント「有田・伊万里やきもの夏まつり」への作家としてのご参加をきっかけに、1991年には京王プラザホテル20周年記念としてオリジナル作品をお寄せくださり、有田焼創業400年記念の2016年には特別展示や講演会、午餐会などにもご登場いただくなど、長年にわたり京王プラザホテルに温かいご支援をいただいています。氏の白磁の壺は〈蒼樹庵〉のほか、南館2階のコリアンダイニング〈五穀亭〉にも1点、飾られています。また、〈蒼樹庵〉や〈五穀亭〉では、お食事の際に井上萬二氏の器に出会うことも。その端正で凛とした風格がありながらぬくもりを感じる作風は、お客様にたいへんご好評をいただいています。ホテルで身近に出会う、アートの感動。井上萬二氏ならではの「用と美」の魅力あふれる逸品に、ぜひ触れてみてください。

本件に関するお問合せ先：

株式会社京王プラザホテル 営業戦略室 企画広報 斎藤 潤子・杉浦 陽子・小田 力・熱田有紀
 〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1 www.keioplaza.co.jp
 T e l 03-5322-8010 F a x 03-3346-2479